

## PPT における 6 年間の活動報告

◎畠山 令<sup>1)</sup>、吉岡 辰泰<sup>1)</sup>、岡崎 陽子<sup>1)</sup>  
NTT東日本 伊豆病院<sup>1)</sup>

## 目的

当院では、多職種から構成されるポリファーマシー対策チーム（以下 PPT と略す）を発足し 6 年が経過している。PPT に検査技師として参画しどのような取り組みを行い、どのような成果があったかを報告する。

## 方法

対象期間中（2019 年 7 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）に入院した患者を対象とし、月ごとに血中尿酸値が正常値以下の患者リスト、血中 LDL コレステロール値が正常値下限付近の患者リスト、eGFR 値が 30 以下の患者リスト、HbA1c が 6.5 以下の患者リスト、K が 3.0 以下のリストを作成、このリストと薬剤室から提供された服薬リストを照らし合わせ減薬検討患者のリストを作成した。作成した減薬検討患者のリストについては PPT にて確認し減薬可能か検討を行った。また同期間中、PPT で算定できた薬剤調整加算の件数について集計した。

## 結果

作成した減薬検討患者のリストをもとに PPT にて減薬の検

討を行った結果、合計 52 件が減薬に至った。内訳は、血中尿酸値が正常で高尿酸血症治療薬服用中の患者については、22 件、血中 LDL コレステロール値が正常値下限付近で脂質異常症治療薬を服用中の患者については 4 件が減薬に至った。また、HbA1c 値が 6.5 以下で糖尿病治療を服用中の患者については 12 件、eGFR 値および K 値から抽出された患者については 13 件が減薬に至った。PPT 活動で算定できた「薬剤総合評価調整加算算定件数」「薬剤調整加算算定件数」の件数については、PPT 活動前の 2017 年度が 14 件であったのに対し 2023 年度は 457 件であった。

## 考察

PPT 活動により「薬剤総合評価調整加算算定件数」「薬剤調整加算算定件数」が増加し、処方薬剤数の削減や適正化にの効果があると考えられた。また PPT にて検査技師が貢献できる役割としては、検査データをもとに減薬検討患者を抽出することが考えられた。

0559782320 NTT 東日本伊豆病院 検査室 畠山